

## 第 80 回大腸癌研究会（当番世話人：落合淳志先生）

### 『内視鏡摘除後大腸 SM 癌の転移・再発に関する多施設共同研究』プロジェクト研究・委員会議事録

日時：2014（平成 26）年 1 月 23 日（木），14：00～15：00

場所：都市センターホテル 603 会議室

出席者（順不同）：齊藤裕輔（市立旭川病院，委員長），石川秀樹（京都府立医大），五十嵐正広，千野晶子，岸原輝仁（癌研有明病院），飯石浩康，竹内洋司（大阪府立成人病センター），佐田美和（北里大学東病院），鶴田 修，野田哲裕，長田修一郎（久留米大学），山野泰穂，檜森亮吾（秋田赤十字病院），齊藤 豊（国立がん研究センター中央病院），池松弘朗（国立がん研究センター東病院），和田祥城（東京医科歯科大学），一政克明（昭和大学横浜市北部病院），檜田博史（近畿大学），浦岡俊夫（慶応義塾大学），田中潤一郎（東京大学），齊藤彰一（東京慈恵会医科大学），中川了輔（東京女子医科大学），堀松高博（京都大学），浦上尚之（昭和大 藤が丘病院），堀田欣一（静岡県立静岡がんセンター），神藤英二（防衛医大），蔵原晃一（松山赤十字病院），和田 祥城（東京医科歯科大学），大倉康男（杏林大学），永田信二（広島市立安佐市民病院），大倉康男（杏林大学），岩下明德（福岡大学筑紫病院）岡 志郎（広島大学）

### 議題「内視鏡摘除後大腸 SM 癌の転移・再発に関する多施設共同研究 のアンケート」の現況について

#### ■研究の目的・内容に関する説明（齊藤委員長）

- 1) 研究期間：2013 年 1 月～2015 年 1 月（2 年間）
- 2) プロジェクト委員および出席者のメールアドレス記載（メールが届いていない委員のメールアドレスの再確認）
- 3) 研究・調査方法の説明

#### ■研究の途中経過（齊藤委員長）

平成 25 年 6 月 13 日時点、15 施設 34 例の報告のまとめ（別紙参照）

#### ■ 研究・調査方法に関する各プロジェクト委員からの主な意見（順不動）

主に呈示スライドの具体的な症例内容に関する御質問を頂いた。

- ・ 再発症例に関して，ハイリスク SM 癌の追加手術時期について？（井上先生）
- ・ 観察期間（1-69 月）の取扱い（特に観察期間が短い症例）について（山野先生）
- ・ 遠隔転移の内容に関しての取扱い（リンパ節，他臓器）（浦上先生）
- ・ 局所再発の内容について（リンパ節再発か吻合部再発か）（檜田先生）
- ・ 重要な症例に関しては内視鏡写真や病理の見直しが必要では？（檜田先生）
- ・ リスク因子のない SM1 癌症例における局所再発例と追加手術例での再発形式は？（飯石先生）

齊藤委員長より、今後の解析方法に関しては症例が全て集積した時点で改めて検討したい旨と、プロジェクト研究参加施設へ改めてアンケート集計（最終締切期日 2014 年 3 月 31 日）をお願いして委員会は終了した。

■次回開催予定について

- 1) 調査内容の進捗情報を報告予定（2014 年 7 月 3 日（木），名古屋観光ホテル）。

以上

文責：広島大学・岡 志郎